

平成4年度
帰国研修員フォローアップチーム
報告書

都市整備コース

平成5年3月

国際協力事業団
東京国際研修センター

615
61.8
TIH

東国七
JR
93 - 504

平成4年度 帰国研修員フォローアップチーム報告書 都市整備コース

国際協力事業団

東京国際研修センター

平成4年度
帰国研修員フォローアップチーム
報告書

都市整備コース



平成5年3月

国際協力事業団
東京国際研修センター

国際協力事業団

17265

序 文

本報告書は、帰国研修員フォローアップ事業の一環として、メキシコ及びブラジルで開催した都市整備分野公開技術セミナーに派遣された専門家チームの帰国報告書です。

帰国研修員に対する巡回指導は、従来より特定集団研修コースの帰国研修員を主として対象に実施してきました。昭和61年度からは、指導領域を特定分野に限定せず、これを関連分野にまで広げることとし、対象者も帰国研修員の所属先及び関連機関の関係者まで含めることにより、より大きな指導効果を上げることを目的としています。

都市計画分野の帰国研修員フォローアップチームは昭和54年度にブラジル・ペルーに、昭和61年度にインドネシア・フィリピンに、そして平成元年度に韓国とマレーシアに派遣されています。しかしながら、都市整備分野での帰国研修員フォローアップチームの派遣は、今回が第1回目となります。今回の公開技術セミナーでは各国の都市整備分野の現状を踏まえて日本で最近実施されている区画整理手法を利用した都市再開発プロジェクトの実例を紹介し、各国が都市整備、都市計画そして都市再開発分野に於いて抱えている問題点について積極的に討論することに重点を置きました。

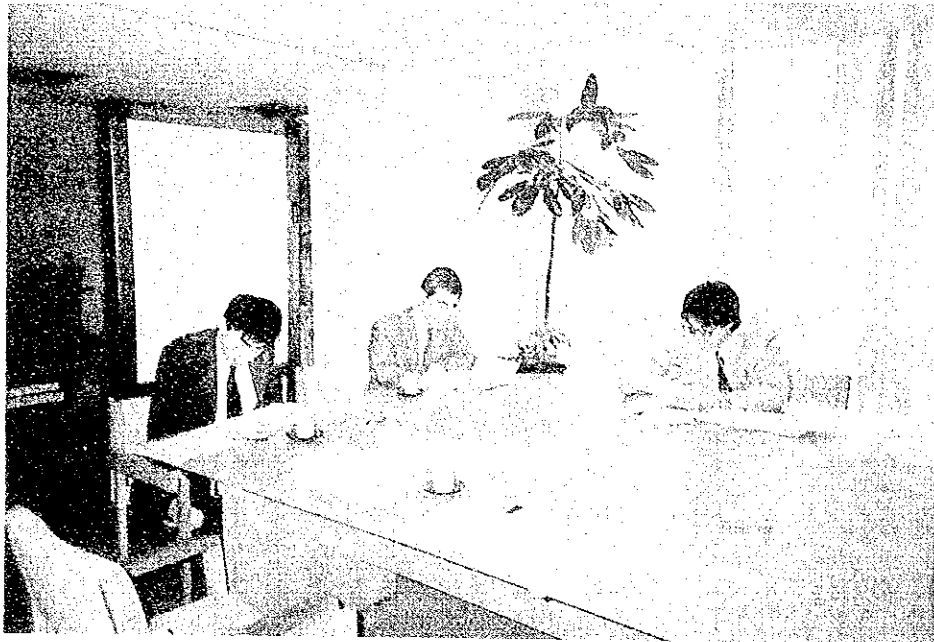
この報告書により、関係各位のさらに深いご理解をいただき、本フォローアップ事業の今後の向上改善に資することが出来れば幸いです。

最後に、本セミナー開催にあたり、多大のご協力とご尽力をいただいた外務省、建設省、在外公館、並びに各国の関係機関各位に深く感謝の意を表します。

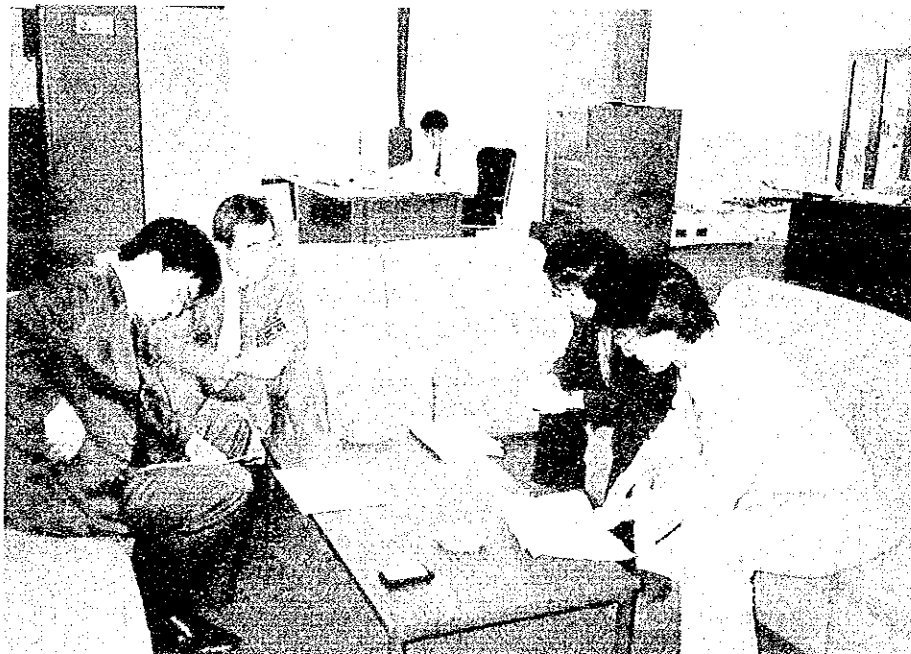
平成5年6月

東京国際研修センター

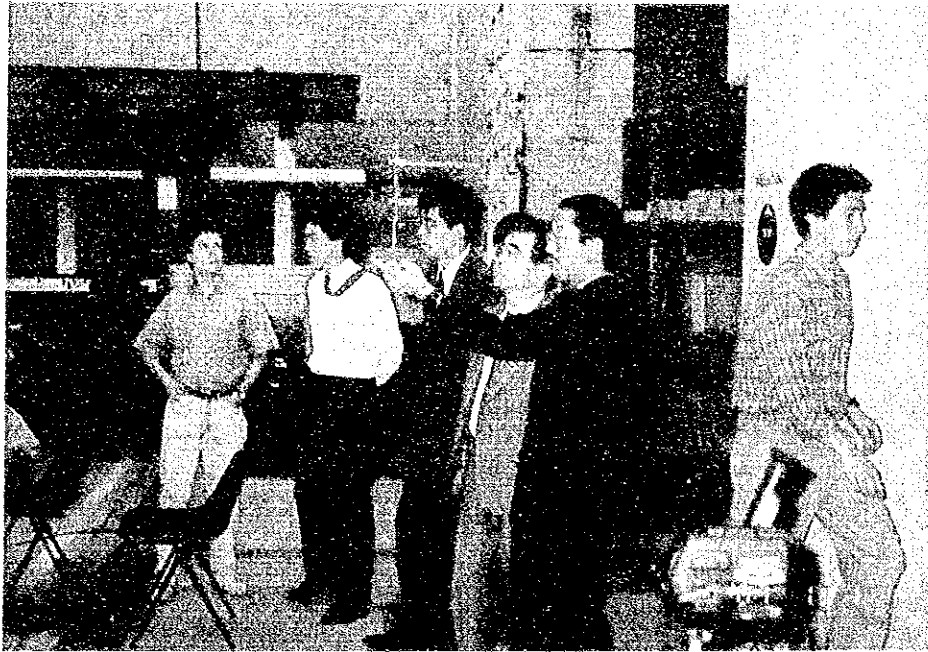
所長 田 口 定 則



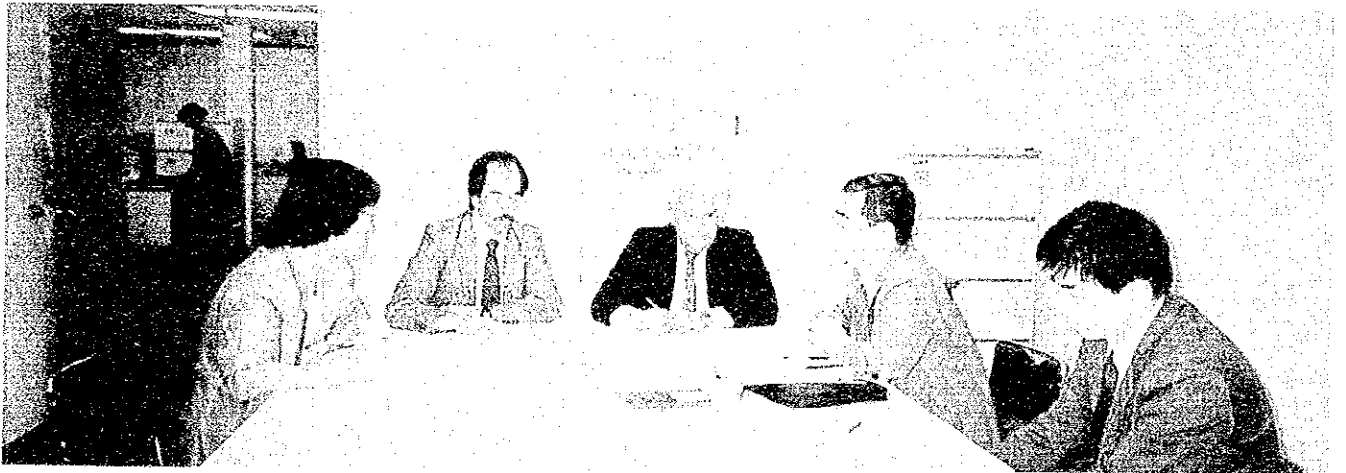
平成5年3月17日(水)メキシコJICA事務所にて打ち合わせ
左から伊藤団員、山名団長、橋本所員



同17日、在メキシコ日本大使館にて
右端から2番目が柳澤書記官



平成5年3月17日(水)地震防災センタープロジェクト視察
中央、宇野所長の説明を受ける山名団長と伊藤団員



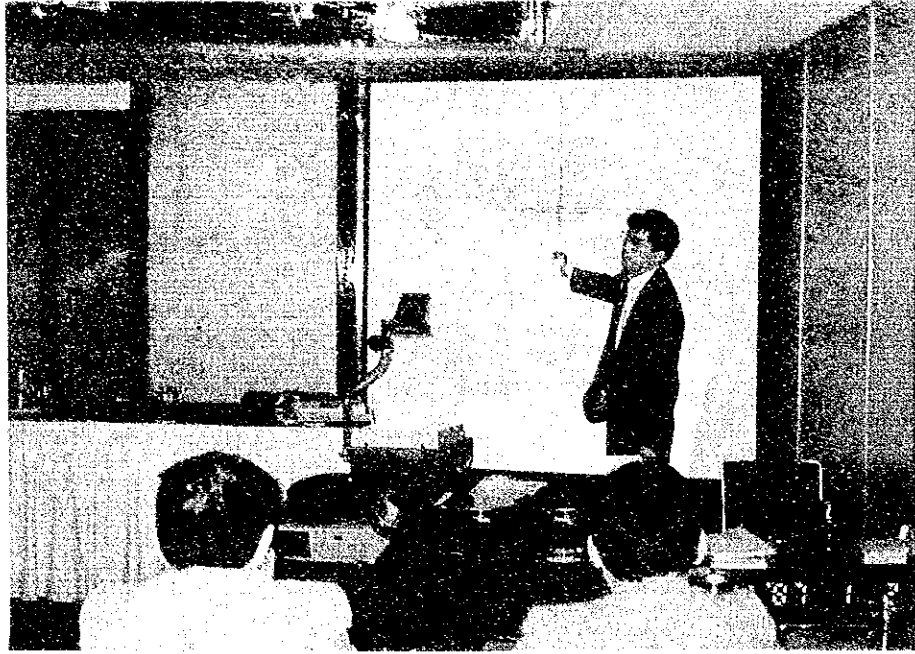
平成5年6月18日(木)社会開発省(SEDESOL)にて帰国研修員とのミーティング
左端より、橋本みどり氏(通訳)、MR. J. Jesus Alvarez Florez、
MR. Arturo Balandrano Campos(帰国研修員)、山名団長、伊藤団員



平成5年3月18日(木)メキシコに於けるセミナー風景



同日：講義中の山名団長



平成5年3月18日(木)講義中の伊藤団員



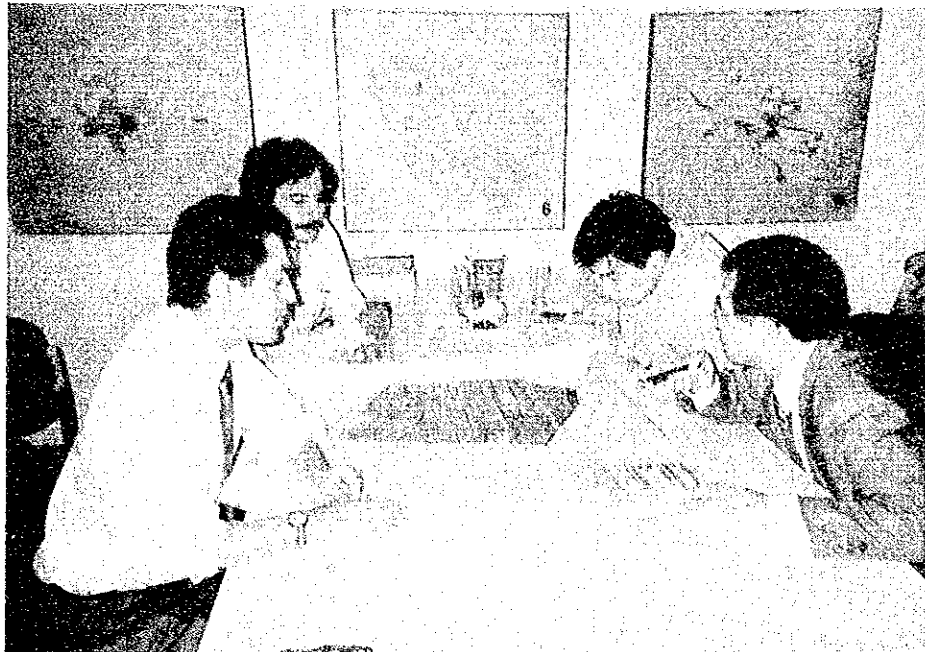
平成5年3月19日(金)グラダラハラ市都市計画課で
 1992年4月の下水道大爆発事故の説明を受ける、
 中央右より、MR. Gabriel Casillas Moreno、
 MR. Carlos Ochoa Fernandez、MR. Gilberto Larios(帰国研修員)



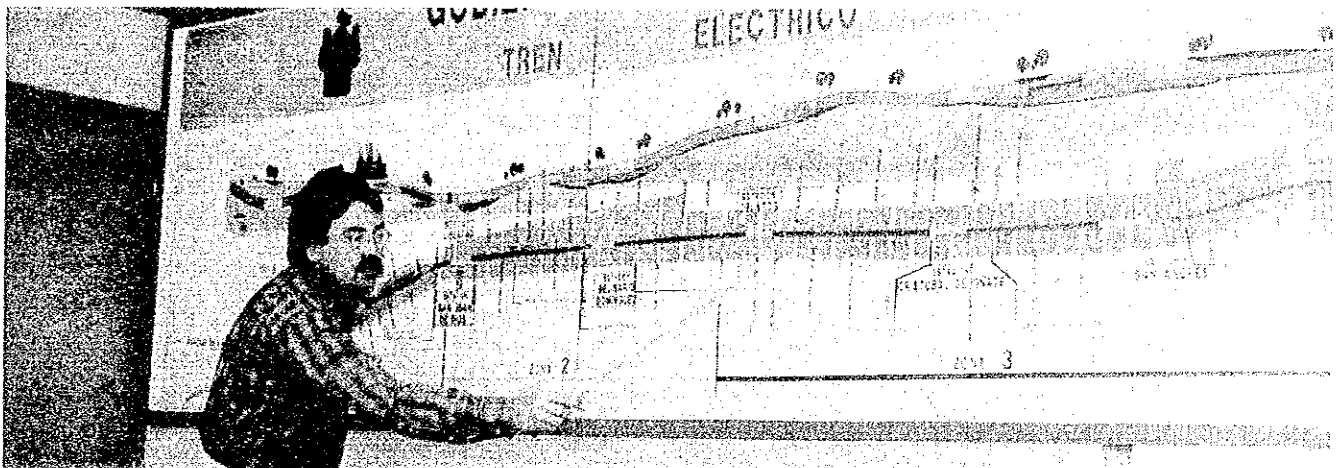
平成5年3月19日(金)下水道爆発事故復旧現場



平成5年3月19日(金)下水道爆発事故復旧現場



平成5年3月19日(金)グアダラハラ都市計画委員会でのミーティング
左端より、MR. Carlos Ochoa Fernandez、MR. Gilberto Larios(帰国研修員)



平成5年3月20日(土)グアダラハラ都市電車開発公社事務所での説明



平成5年3月20日(土)地下鉄ライン2工事現場



同日：メキシコ、ハリスコ州政府都市計画局でのミーティング
MR. Gabriel Casillas Morenoの説明を聞く山名団長



平成5年3月23日(火)メキシコJICA事務所報告
写真右より、齋藤所長、山名団長



平成5年3月24日(水)ブラジル・サンパウロ市住宅局訪問
中央左、MR. Fernando Gomes da Silva



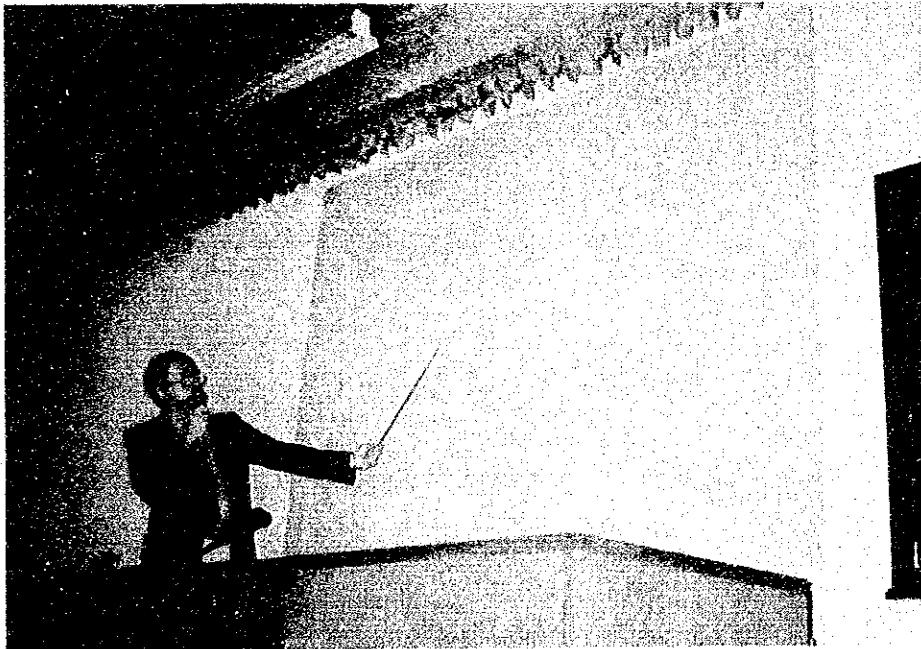
平成5年3月25日(木)サンパウロJICA事務所に於ける
帰国研修員の意見交替会



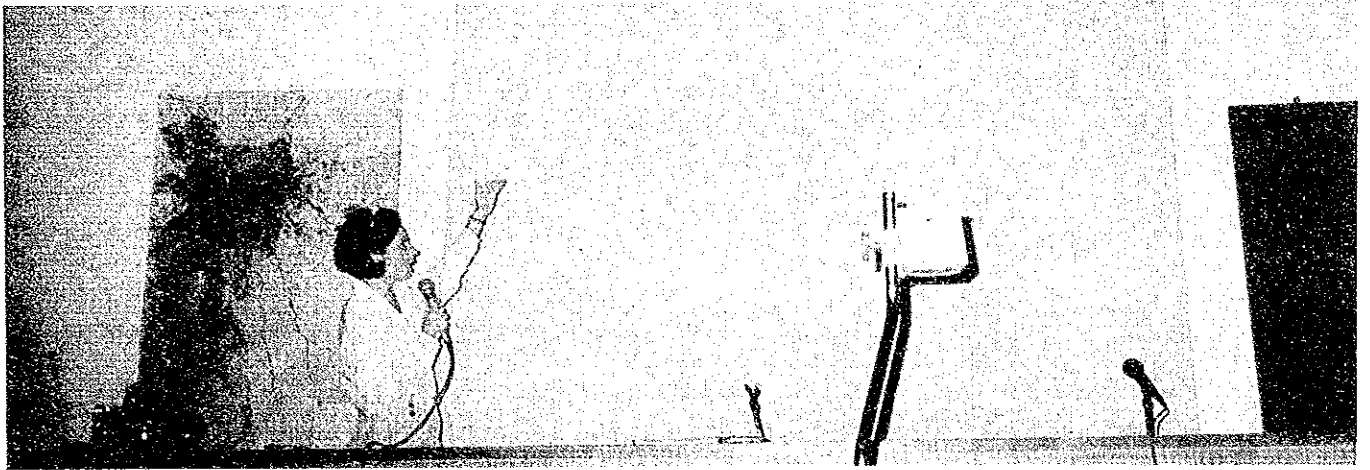
平成5年3月25日(木)サンパウロIPT(技術研究所)に於ける
山名団長の講義



平成5年3月25日(木)伊藤団員による講義



同日：MR. José Eduardo de Assis Lefevreによる講義



平成5年3月25日(木)MS. Lucia Pessoa Falcao Lacreteによる講義



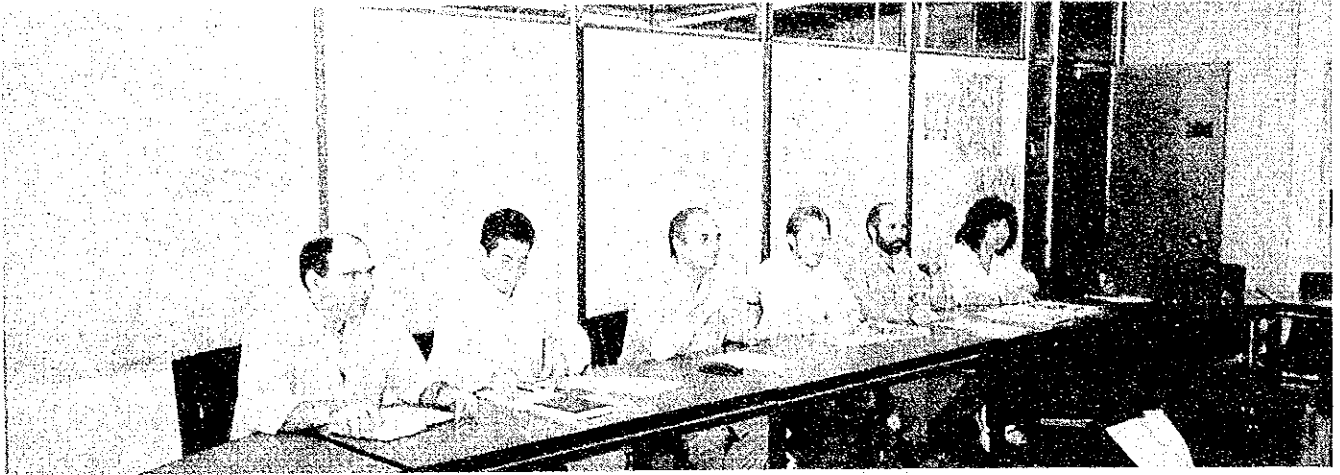
同日：セミナー受講者



平成5年3月25日(木) 団長主催レセプション



平成5年3月26日ポルトガルアレグレ市長表敬訪問
左より、MR. Tarso Genro、山名団長、MS. Akiko Shinozaki Schmidt(通訳)



平成5年3月27日(土)ポルトアレグレ市都市計画課ミーティング



同上：左より、MS. Virginia Müzell Jardim(帰国研修員)、
吉村団員、伊藤団員、山名団長、MS. Akiko Shinozaki Schmidt(通訳)



平成5年3月27日(土)MS. Lenora Ulrichによる
ポルトアレグレ市下水道局の事業概要説明



平成5年3月27日(土)MS. Lenora Ulrichによる
ポルトアレグレ市下水道局の事業概要説明



平成5年3月29日(日)サントス市公共事業局訪問
サントス市住宅建設計画についての説明を受ける。
写真中央：MR. Claudio Abdala



写真左：サントス市商業地区



写真上：サントス市のファベラ(スラム)

目 次

I. フォローアップ派遣概要	1
1. 派遣国.....	1
2. 派遣期間.....	1
3. 派遣目的.....	1
4. 団員構成.....	1
5. 調査日程.....	2
6. 訪問機関・主要面会者.....	3
II. フォローアップ調査内容.....	6
1. メキシコの都市整備の現状と課題.....	6
2. ブラジルの都市整備の現状と課題.....	9
3. セミナー実施概要.....	11
(1) 「都市拠点総合事業の流れ」講義概要(山名団員).....	11
(2) 「最近の公園整備の事例紹介」講義概要(伊藤団員).....	12
III. 研修コース(カリキュラム等)改善への具体的提言.....	14
1. 研修効果を向上させるための具体的提言.....	14
2. フォローアップ調査について.....	15
IV. 別添資料	
1. セミナーアンケート集計結果(メキシコ、ブラジル).....	16
2. セミナー参加者リスト(メキシコ、ブラジル).....	27

1. フォローアップ派遣概要

1. 派遣国 : メキシコおよびブラジル
2. 派遣期間 : 平成5年3月16日～4月1日(17日間)
3. 派遣目的 : 都市整備コース帰国研修員及びその職場関係者に対し、公開技術セミナーを開催し、日本に於ける区画整理事業の最新の事例を紹介し、訪問国との事例を比較・検討を行う。
また、今後の研究カリキュラムの作成、コースマネジメント等の改善を目的として、以下の調査項目について調査する。

1. 本コースに対する評価
2. 当該国に於ける都市計画、都市整備の現状、問題点将来の展望
3. 本研修及びフォローアップ事業に対する要望

4. 団員構成

団長(総括、技術指導) : 山名 清郷

建設省都市局都市計画課

団員(技術指導) : 伊藤 英隆

建設省都市局公園緑地課

団員(企画・業務調整) : 吉村 稔

国際協力事業団 東京国際研修センター 研修第2課

5. 調査日程

日順	月 日	行 程	調 査 内 容
1.	3/16(火)	ANA 006便 17:00 成田発 DL 332便 12:10ロス・アンジェルス発 17:44 メキシコ着	(移動)
2.	17(水)		JICA事務所打合せ、大使館、 メキシコ援助窓口機関、地震防災 センタープロジェクト視察
3.	18(木)		社会開発省(SEDESOL)、メキシコ市 地震被災地区、都市再開發現場視察、 セミナー実施、団長主催レセプション
4.	19(金)	MX 464便 09:15 メキシコシティー発 10:15 グアダラハラ着	(移動)グアダラハラ市都市計画課、 1992年ガス爆発被災地復旧工事現場 中央区都市計画事務所
5.	20(土)		都市電車開発公社、地下鉄ライン2工事 現場、ハリスコ州政府都市整備局
6.	21(日)		資料整理
7.	22(月)	AM 422便 09:00 グアダラハラ発 10:00メキシコシティー着	(移動)
8.	23(火)	RG 873便 15:00 メキシコシティー発	JICA事務所報告
9.	24(水)	08:55 サンパウロ着	サンパウロ事務所打合せ、サンパウロ 市住宅局訪問、都市計画局訪問
10.	25(木)		帰国研修員との会合、ディスカッション セミナー実施、団長主催レセプション
11.	26(金)	RG 126便 09:30 サンパウロ発 11:00 ボルトアレグレ着	ボルトアレグレ市長表敬訪問、河川浄化 事業現場視察、帰国研修員との会合
12.	27(土)		ボルトアレグレ市都市整備事業説明、 現場視察、下水処理場視察
13.	28(日)	RG 320便 09:00 ボルトアレグレ発 10:30 サンパウロ着	(移動)
14.	29(月)	RG 866便 23:00 サンパウロ発	サントス市住宅建設事業視察、 サンパウロ事務所への報告(移動)
15.	30(火)	06:30 ニューヨーク着	(移動)
16.	31(水)	JL 005便 12:30 ニューヨーク発	(移動)
17.	4/1(木)	16:35 成田着	(移動)

6. 訪問機関・主要面会者

・ メキシコ

主要訪問機関	主要面会者	役 職
①JICAメキシコ事務所	斉藤 寛志 河野 文男 橋本 隆弘	メキシコ事務所所長 所員 所員
②在メキシコ日本大使館	柳澤 俊幸	三等書記官
③外務省・文化局・ 学術交流奨学金部	Lic. Norma Pensado Moreno	Director de Intercambio Academico y Becas Direcccion General de Asuntos Culturales Secretaria de Relaciones Exteriores
	Lic. Elizabeth Colin Arroyo	Jefe del Departamento de Necas Multilaterales Direcccion General de Asuntos Culturales Secretaria de Relaciones Exteriores
④国立防災センター (CENAPRED)	Lic. Hiroyuki Uno	Director Del Equipo Asesor Japonés
	Ing. Naomi Honda	Experto en Reglamento de Constsrucion
	Lic. Mitsuo Yoshida	Del Equipo Asesor Japonés Coordinador
	Lic. Ricardo Cicero Betancourt	Del Equipo Asesor Japonés Coordinador de Difusion
⑤社会開発省 (SEDESOL)	Arq. Arturo Balandrano Campos	Director de Operacion Urdana Zona-Sur
	Mr. J. Jesus Alvarez Florez	
	Arq. Juan Felipe Ordonez	Director de Operacion Urbana Zona Norte
⑥グアダラハラ市 都市計画局	Arq. Jose Francisco Perez Esponoza	Director de Desarrollo Urbano
⑦グアダラハラ 都市計画委員会	Arq. Carlos Ochoa Fernandez Sergio Gonzalez Guzman	Vocal Ejecutivo Subdirector
⑧ハリスコ州都市整備局	Arq. Gabriel Casillas Moreno	Coordinador General Sectorial
⑨グアダラハラ 都市近郊線開発公社	Arq. Mario Cordova Espana	Director de Obra Estacionaria Electromecanica y Via

・ ブラジル

主要訪問機関	主要面会者	役 職
① JICAサンパウロ事務所	寺内 光夫 佐々木弘一 町田 智	所長 技術協力担当 所員
② サンパウロ市住宅局	Fernando Gomes Da Silva Eng. o Fernando Ungaro Ayrton Martini Filho	Secretario Adjunto Superintendente de Construção Civil Coordenador Tecnico
③ サンパウロ市都市計画局	Arq. Lucila Pessoa Falcao Lacreta Arq. Ivany Hatuko Ueta Arq. Tania Wakisaka Arq. Mieko Ando Ussami	Chefe da Assessoria Tecnica e Piretora Coordinator Coordinator
④ サンパウロ技術研究所	Toshi-ichi Tachibana Caio Fabio Attadia da Motta	Coordinator Divisao de Tecnologia de Transportes Coordenador do Programa de Tecnologia da Habitação
⑤ ポルトアレグレ市長・表敬	Tarso Genro	Mayor of Porto Alegre
⑥ グアイバ川浄化計画	Ms. Girelda Castro	Project Coordinator
⑦ ポルトアレグレ市 都市計画局	Burmeister Newton Branco Jorge Puricelli Hermes De Assis Ribeiro Breno Da Silva Czarnobai Flavio Oliveira Cleia Brun Sergio Albano Teresa	Architect Former Secretary of Urban Planning Sociologist Special Adviser Architect Urban Development Manager Engineer Urban Planning Manager Engineer Humaita Navegantes Project Manager Architect Special Projects Coordinator Engineer SPM Data Coordinator Architect Special Projects Coordinator
⑧ ポルトアレグレ市 上下水道部	Lenora Ulrich Virginia Muzell Jardim	Architect Pluvial Sewage Department Architect JICA's Ex-participant, DEP

	James Mendel Schostack	Engineer JICA's Ex-participant, DEP
	Bento Porto	Engineer, DEP
⑨サントス市公共事業局	Claudio Abdala	Secretario de Obras e Servicios Publicos
	Eng. Carlos Ojeda	Director Tecnico

II. フォローアップ調査内容

1. メキシコの都市整備の現状と課題

(1) 大都市への人口集中問題と国土施策

日本と同様、都市部特に大都市への人口集中が続いており、メキシコ シティ、グアダハラ、モンレー、プエブラ等に於いて人口が増加している。一方、地方の過疎化が進行している。

この様な課題を解決するため、昨年から人口50～100万都市を対象に100都市整備プログラムを策定中である。

(2) 計画の内容

100都市については、次の5計画を策定することとしている。

① 都市利用計画

特に、都市的に利用すべき地区と保全すべき地区の区分

② 低所得者に対する宅地供給計画

③ 交通計画

④ 環境計画(下水道計画とごみ処理計画)

⑤ 都心部の活性化計画

伝統的建築物の保存問題

都市インフラの近代化

住宅の改善

また、この計画の実現に向けて、大統領が提唱しているSOLIDARIDAD(団結)運動が活用されており、地域住民、民間企業が100都市の整備に参画している。

(3) この計画を進めるに当たっての課題

- ・ 予算上の課題
- ・ 都市整備の観点からの課題

上記計画を進めていく際に直面している問題として、エヒード(EJIDO:農地の共有制度)地区の処理問題がある。

現在、地方部に於いて、約3万箇所のエヒード地区があり、この共有権の譲渡が認められたことにより、民間不動産業者による乱開発が進み、基盤の未整備の市街地が拡大しつつある。

この対策として、区画整理手法の導入を考えている。特に、区画整理の制度による住民合意の形成方法に興味を持っている。

注 これに対し、当方より、区画整理適用の有効性について、具体的に検討する必要がある。個別研修制度等の活用について、JICA事務所と相談することを提案しておいた。

(4) グアダハラ市の都市整備の課題

① 災害復旧と都市整備

昨年4月の下水道の大爆発(原因は、下水道に製油所からのガソリンが流入し、滞留したものが爆発と言われている)後の復旧現場を視察。

州政府の担当官としては、この復旧工事と併せて、都市基盤の改良と市街地の再整備を計画。しかし、地元地権者の反対とそれに便乗した政治的な動きに影響され、結果として従前の姿に復旧することになった。

政治的安定性があれば、現況は異なっていたと思われる。

先方説明者 GABRIEL CASILLAS MORENO

ハリスコス州政府 都市整備局 担当調整官

② 都市整備計画の策定プロジェクト

CARLOS OCHOA FERNANDEZ

都市計画委員会 委員からのヒアリング

グアダハラ都市圏(32,000HA:人口約4,000万人)を97の地区に分割各地区各に詳細な都市整備計画(日本の地区計画に近い)を策定するもの。

現況調査、計画策定に住民が協力。計画は全員同意型であり、策定委員会と住民代表がサインして計画が発効。

注 地区各に状況が異なり、全地区の計画策定に相当の時間と労力が必要。今後の推移を見守りたい。

日本とメキシコの土地利用計画について、調査団と先方3名の間で、約3時間に渡って情報交換。

③ 地下鉄計画

3月20日(土)州政府交通局

MARIO CORDOVA ESPANからヒアリング

現況と計画

南北線(1号線)延長15.5KM完成。'89営業開始。

東西線(2号線)延長8.5KMを工事中。全線地下構造。本年秋に工事完成の予定。

工 事	メキシコ企業
電気関係	シーメンス(独)と三菱電気
車 両	フランスとドイツの合弁事業(現地生産)

料金体系

均一料金1ペソ(約40円)の予定。低所得者対策の一環。

工事現場の視察

地下水位の極めて高い地区で難工事。失業対策の観点もあり、機械化はおこなわれていない。

注 日本と異なり、地下鉄は公共施設の一部として整備されており、受益者負担採算性も考慮されていないので、ともすると過大設計とも見られる点があった。

④ 幹線道路の改良計画

3月20日(土) ハリスコス州政府都市整備局

GABRIEL氏からヒアリング

計画の概要

ロベス・マテオス通りの交通容量の強化策として、交差点の連続立体交差化を計画。景観対策を考慮して、地下構造を採用。併せて一方通行規制を採用の計画。

一般的に、メキシコシティー、グアダハラ市とも日本と比較して道路網、幅員とも充分整備されており、一方通行規制の導入も容易で効果的。

注 計画立案のための基礎データが不足しており、整備後の効果の評価が不足。今後基礎データの蓄積と総合交通体系の確率に向けて、自動車OD調査、パーソントリップ調査等が必要と思われる。

JICAの総合交通体系コースへの研修性の受入れを検討することが望まれる。

2. ブラジルの都市整備の現状と課題

(1) サンパウロ州の概況

① 諸元

面積	247千平方キロ	内サンパウロ市	1,493平方キロ
人口	31,357千人	内サンパウロ市	9,466千人

(2) サンパウロ州の都市問題

① 都市部への農村部からの人口流入

- ・ サンパウロを始めとする都市における都市問題の激化
流入人口に対して相対的な住宅供給の不足
典型的な都市問題の例としてのスラム街の発生と拡大、治安問題(特にサンパウロに於いては、外国人はもとより現地人さえも夜間に於いては外出しないことは勿論、日中に於いても外出するときは、現金を持たない。また、高級住宅地においては、自衛の警備システムを持っている状況。)

② 所得の分布

少数の高額所得者層と多数の低所得者層への両極分解

③ 政治的不安定による長期的都市計画立案の困難さ

例えば、市長が変わると都市整備計画に対する方針がまったく別のものになることが多く結果として長期計画の立案が極めて困難。

④ 都市整備分野での対策

- ・ 地方部の活性化による人口の都市流入の抑制。
地方部に対する住宅投資の重点配分
州の住宅投資の内 サンパウロ市 25% 以外の地域 75%
- ・ 低所得者住宅の供給
分譲住宅の供給、賃貸住宅の供給は検討中。
- ・ スラム街(FAVELA)の改造
- ・ 都心部の整備
サンパウロ市のマスタープランの改定を検討中。
現在のマスタープランは1988年に承認されたものであり、前社会党政権が見直しを提案。

見直し案の主要点

- * インフラ整備の進んだ都心ゾーンに於いて許容容積の一杯まで建築物を立てられる開発が許可される制度の導入。

市では、これを基金として積み立て、インフラ整備に活用。

この点については、建設業界等からの反対意見が出ている。

- 注 日本の場合、開発者負担の原則による開発利益の還元、固定資産税による公共投資の改修がなされていることを説明。

先方からは、市税に占める固定資産税の割合が大変低いことが説明された。いづれにしたも、都市整備において、税制が重要であることが理解された。

我が国の誘導容積制度について、当方より説明。

- ⑤ ポルトアレグレ市(RIO GRANDE DO SUL州・滋賀県と姉妹県)の都市問題
市長、下水道局長、都市計画局長ほかからヒアリング

- * グアイバ川の水質改善対策

当市の最重要施策の一つである。

都市基盤施設特に道路の整備についてはしっかりしているが、下水道とくに汚水の処理が大変遅れており、スラム街の改善とともに重点的取り組んでいる。

- * グアイバ川の洪水防御対策

1941の洪水の水位の高さで堤防の改修

その結果内水の排除が課題となり、ポンプ場を多数設置。

- * 当市は、独、伊、西の文化的影響を受け、異種文化の集合体という特性を持っている。

1959にブラジルでは始めて都市計画制度を導入。

他の大都市と同様農村部からの人口流入が問題となっている。

- * 市政の課題

- 市街地の改造と開発
- 交通対策
- 経済開発
- 財政問題

* 都市計画の課題

- 工業団地の造成
- 都心部の密集地対策
- 流通センターの整備
- ごみ問題とごみの再生問題
- 都市内交通対策 主としてバスで対応
市として新しい交通システムの開発を行っている。
空気浮上式モノレールの開発
- 住宅供給対策

⑥ サントス市(長崎市、下関市と姉妹都市)の都市整備と課題

サントス市都市計画局長からヒアリング

- * 周辺3市と共同で緑地等の保存のための施策を展開中
- * 都市内を通過している鉄道の改善策を検討中
- * 都心部の再開発と保全
- * スラム街の改善がここでも大きな課題。

3. セミナーの実施概要

(1) 都市拠点整備について(山名担当)

① 日本の都市政策の流れ

- * 東京都市圏への人口集中と地方人口の減少という課題に対する対策
均衡の取れた国土形成に向けて
東京圏の整備と業務核都市整備
地方拠点都市法による地方の活性化
- * これらの施策の推進における都市拠点整備の役割
特に、近年各都市の都心部に発生している遊休地の活用による都心核の整備。

② 神戸市のハーバーランドプロジェクトを事例として都市拠点整備の考え方、進め方、計画立案に当たっての留意事項、開発利益の還元の方法、土地利用転換の進め方等について紹介(スライドを使用)

- * 国鉄の遊休地、倉庫群土地利用転換の発生
- * 神戸市の都市構造の改善と遊休地の活用に関する基本方針の策定

- * 周辺地域も含めた土地利用計画と都市施設計画の策定
 - 特に、自動車交通、歩行者交通の処理について
 - ・ 鉄道系の将来計画 地下鉄の将来計画
 - ・ 在来の鉄道駅と当該地区の間の歩行者対策 地下、地上の歩行者専用道路 地下街の整備と歩行者専用道路の整備
- * 事業手法の選定
 - 都市施設と宅地の一体的整備の必要性 土地区画整理手法の選択
- * 土地区画整理事業の事業計画の策定
 - 都市基盤施設の整備
 - 財源手当て 補助制度、開発利益の還元策、受益者負担の考え方
 - 土地の先買いと計画的な土地利用の誘導
- * 計画的な土地利用の規制と誘導
 - 地区計画の活用
 - 先買地について事業コンペ方式の活用
 - 民間所有地と市有地との一体的事業コンペの適用
- * 環境対策、景観対策、水辺空間の活用による潤いのある空間の確保

(2) 後援と緑地の計画と整備(伊藤担当)

最近の日本における後援整備計画について説明する。

ポイントは以下の点

- * 一番遅れた社会資本(インフラ)と言われてきた
 - (東京は皇居があるので緑がよく見える)
- * 単に緑が増えればいいというのではなくて、政策目的が求められる
 - (単なる子供の遊び場はだめ)
- * 公園計画には国と地方の補助金が入れている
 - (土地1/3、施設1/2)

① 東京近郊の事例

埼玉県秩父市秩父アミューズメントパーク(東京より自動車1時間)

- * 目 的 スポーツ活動を中心に東京からの日帰り利用も想定したリゾート施設中心の公園
- * 規 模 375 ha

- * 事業費 150億円、20年
- * 主な施設 テニスコート、プール、スケートリンク、宿泊用コテージ、音楽堂

② 人口30万～50万人の地方都市の事例

栃木県宇都宮市近郊井頭公園(東京より約200km)

- * 目的 子供から大人まで楽しめるレクリエーション活動の拠点、週末利用、学校利用中心
- * 規模 87ha
- * 事業費 35億円、10年
- * 地域経済効果 雇用 50万
 利用者 100～150万人/年
 経済効果 工事、商品購入 25億5千万円/年

③ 人口3～5万人の地方都市の事例

長野県三郷村三郷文化公園

- * 目的 村民のスポーツ活動の拠点、気楽に立ち寄れる場所
- * 規模 4ha
- * 事業費 25億円、5年
- * 主な施設 多目的体育館、テニスコート、運動場
- * 地域経済効果 毎年、りんご村音楽祭 5000人参加
 利用者4～5万人/年
 柔道剣道大会

III. 研修コース(カリキュラム等改善への具体的提言)

1. 研修コースを向上させるための具体的提言

(1) 調査団からの提言

- * 文化財の保存に関する日本の取組み、制度を研修に追加する。
両国に於いても、伝統的建築物の保存が大きなテーマになっている。我が国の対応、特に土地区画整理に於ける考え方について情報を提供することは意味がある。
- * 都市計画に関する各種データのデジタル化によるデータベースの作成に関する講義の追加。
- * 都市整備は極めて総合的な施策であり、出来る限り総合施策としての視点から研修を実施することが望まれる。
 - 都市整備と土地利用の規制、誘導とを組み合わせた総合施策について情報提供。
 - 都市計画、都市整備と低所得者対策は密接に関連しており、この視点からのカリキュラム作成を検討することが必要。
 - 都市整備の中で、税制が大変重要な位置を占めており、日本の税制の具体についての研修項目を取り入れることが必要である。
 - 土地の評価手法についての研修の充実。
とくに、我が国の固定資産税、相続税、土地保有税等の基本となる土地の評価手法。
- * 土地区画整理手法のなかで、特に住民参加の仕組みに感心が強いので、この点についての研修内容の強化。
- * 地方計画、地方の活性化に関する研修項目の追加。

(2) 研修生からの要望

- * 都心の活性化施策
- * 環境対策についての内容強化

2. フォローアップ調査について

- * 今回のフォローアップミッションのスケジュールについては、現地のJICA事務所が全面的準備して頂いたが、結果的にはアポイントメントとして頂いた先方の意向と我が方の意図にずれがあったようである。今後は日本を出発する以前に充分調整を図る必要があると反省。
- * 研修のフォローアップとして情報の提供を強化するとともに先方の取り組みの進捗に合わせて個別研修、専門家派遣等の対応を検討する必要がある。
- * また、先方の抱えている課題によっては、日本で考えているのとは別の研修がより有効で或ることもあるので、情報の提供はより注意が必要。

IV. 別添資料

1. セミナーアンケート集計結果(メキシコ、ブラジル)

アンケート集計結果(メキシコ)

No.1

1. このセミナーについての質問

(1) このセミナーは役に立ちましたか?

はい : 8

いいえ : 0

その理由を書いて下さい。

- ・ 財政について 学んだ。
- ・ 都市計画の研究を続けている。
- ・ 日本で行われている都市開発の新政策を知ることが出来た。
- ・ SEDESOL での主計画である国の開発と住宅政策に参加できた。
- ・ 会社と省庁に選択させ、地方政府に広げる概念を与えてくれた。
- ・ 投資、影響性の適応、実現のプロジェクト設計に役立った。
- ・ 日本での体験を役立てながら我々の日常の活動に十分につながりのある重要な2つのテーマを知ることが出来た。

(2) このセミナーの他にJICAによるフォローアップに関する活動等についての要望を書いてください。

① 資料

- ・ 区画整理と公園について情報がほしい。
- ・ 都市開発についての日本の政策の資料。
- ・ 都市計画の研修、東京、名古屋、京都等主要都市計画等の法的システムについての情報が必要。
- ・ 計画を立てるための規約、測量についての技術的情報。
- ・ 日本における政府と持ち主間の取り引きの技術的情報。
- ・ 区画整理。
- ・ 歴史的な中心部や都市センターの刷新と開発計画の例。
それらの計画の実行戦術。
建築上価値ある歴史建造物の保存。
- ・ 理想的都市開発についての情報。

② 設備

- ・ 区画整理に使われる装置。
- ・ コンピューター化の援助。
- ・ ビデオ、フィルム。(2人)
- ・ 都市整備職員の基準。

③ 専門的指針

- ・同様なすばらしい専門的指針。
- ・メキシコでの地方区画整理プロジェクトと、その研修への援助。
- ・種々の企業や省庁訪問のコース。
- ・都市開発と都市計画のコース。
- ・区画整理。
- ・日本政府の都市計画に関するコースに参加する国への研修と協力。

④再研修

- ・1986年に日本に行った。再来日したい。
- ・同じプログラムを続ける。
- ・区画整理、都市計画、工業港開発、市中心部再活性化の技術者が必要。
- ・地震設備と再開発の研修コースに参加したい。
- ・市の歴史的な中心部、都市河川の救済、都市土地利用プロジェクト編成に興味がある。

(3)その他のコメント

- ・セミナーはたいへん興味深かった。
- ・区画整理、都市計画、工業・観光開発計画の日本の経験のメキシコへの適用を進めること。
- ・他に：都市土地利用の規制。
開発の手段としての都市土地台帳。
- ・セミナーは都市開発の問題に直面する形で、よく構成されていた。

2. 都市開発・都市計画・土地再整備計画

(1)あなたが関わっているか現在進行中の都市開発あるいは都市計画のプロジェクトについて要点を書いて下さい。

- ・都市計画 (Cancun, Cuautitlan Izcalli & Villa Hermosa)
- 土地再整備 (SN-Miguel & Tepotzotlan)
- ・Tepic 市の都市開発 (社会的に)
- ・今のところプロジェクトはない。
- ・1.都市計画：土地利用の基準制定
- 2.都市開発の戦術促進
- ・メキシコ市の歴史的な中心部の救済のため民間投資計画を進める。
- ・国の様々の市の人口中心部の都市開発計画。

(2)あなたの国の土地再整備計画の現状と問題点を書いて下さい。

- ・財政
- ・メキシコでは土地再整備計画は進んでいる。
- ・区画整理を取り入れる条件は整っているのだが日本政府の協力が必要。

- ・ 1. 正確で詳細な計画か自由で柔軟な計画かの議論。
- ・ 2. 変則的所有によって土地購入手段は難しい。
- ・ 歴史的な中心部の救済計画は最近（2年）のものである。問題は建築物の復元のための投資は高く、財政源を得るのが難しい。
- ・ 地方政府による都市開発計画は少なく、国のレベルでの職権集中がある。

(3) 技術的な面で困ったことがありますか？

- ・ ローンを得ること。
- ・ 都市設計。
- ・ 区画整理が知られていない事。
- ・ 1. 都市の重要な数字についての情報の取り扱い。
- ・ 2. 新プロジェクトに当てはめ、より柔軟な法律。
- ・ 歴史的な事例、領土の推移、建築物の歴史的記録は組織的になっていない。
- ・ 計画中の100市の特定の工事遂行のための技術協力の不足。

(4) 上記の技術的問題について可能な解決法を書いて下さい。

- ・ 要望には実用的に、過程では柔軟に。
- ・ 区画整理法を広める。
- ・ 大学、官庁、専門学校で同様のセミナーを進める。
- ・ 1. コンピューターの導入と職員の研修。
- ・ 2. 経験を学び、組織化する。
- ・ 年毎に実施されている計画の追跡、評価を行う。
- ・ 都市計画の立案、追跡、改定の地方自治体による実施を強化する。

* 帰国研修員の方々への質問

A. 参加コース名

- a. 集団コース：
- b. 個別コース：

B. 参加した年：1986

1987

1992

C. 参加時のあなたの所属機関

都市開発・環境省副部長

NAYARIT大学社会・都市調査官

SEDESOL 地峡地域副部長

D. 日本での研修の成果をどのように活用していますか？

- ・都市マスター・プラン、詳細計画
- ・社会、都市に関する計画
- ・メキシコの都市開発プログラム作成と社会的参加を進める事。

E. 将来の研修に有効と思われる点がありましたら書いて下さい。

(1) あなたの仕事に役立つ科目

- ・区画整理（そのすべて）
- ・区画整理の法的システム
- ・メキシコで取り入れられる区画整理のプロジェクト。
都市計画。
工業港の開発。
都市中心部の再活性化。

(2) 削除すべき科目

(3) 付け加えられるべき、または強化されるべき科目

- ・協定、財政
- ・都市計画
種々の事務所間の調整
日本の都市計画事業所への訪問

(4) 望ましい期間、季節

- ・夏
- ・同じ季節

(5) 望ましい研修旅行の時期

- ・1ヶ月
- ・ちょうど良かった。

(6) 講義に関する意見

- ・講師全部が英語を話してほしい。
- ・講師はすべて良かった。

(7) 研修旅行について他の意見

- ・すべて良かった。
- ・日本全体の興味深い様子を見る事が出来た。

(8) コース中の日常生活について

- ・毎日、日本と人々について知ることが出来た。

アンケート集計結果（ブラジル）

1. このセミナーについての質問

(1) このセミナーは役に立ちましたか？

はい : 11

いいえ :

解答なし : 2

その理由を書いて下さい。

- ・ 計画における日本の経験をフォローアップするために。
- ・ 日本の都市開発／計画に関する新しいプロジェクトや法律についての情報を得る機会だから。
- ・ 北東部においては大都市の刷新が重要であり、この種の都心問題を解決するにあたっては他の帰国研修員との情報交換が役立つ。
- ・ JICAと帰国研修員が接触を保つためにとても役立つ。
- ・ 我々の問題点と現時点の日本の問題点を比較するのに役立つ。
- ・ セミナーで取り上げられた都心部開発は最近関心の高まっている問題である。
- ・ サンパウロの大西洋雨林植物に代表されるリベイラ溪谷における広範囲プロジェクトを推進するために役立つ。
- ・ サンパウロの場合を比べて日本の都市開発あるいは再開発がどのように成熟したかを知るのには大切である。
- ・ 先進国がどのように都市問題に取り組んでいるかを知りそれらをどのように適応させるかを知るのにはおもしろい。
- ・ 我々が日本で受けた研修分野の最新情報をアップデートするのは大切である。また他のブラジル人技術者と会うのは価値あることである。

(2) このセミナーの他にJICAによるフォローアップに関する活動等についての要望を書いてください。

- ・日本の最近の都市計画法、地方下水処理システム
- ・日本のCAP (COMPUTER AIDED PLANNING) の体験についての情報
- ・帰国研修員どうしレポートなどで体験や情報を定期的に交換しあったり、また日本の都市プロジェクトや都市計画法についての情報を得るのは、いいだろう。
- ・本コースの元研修員どうし都市再開発での経験を交換しあうことにより、密接な関係を保つことができれば良いであろう。また、都市再開発の補足コースによって、北東ブラジルでの特有な問題点についてより深くほりさげる機会があると良い。
- ・日本からの使節団がくるたびにその効果は大きい。元研修員はJICA及び日本領事館を通じてコース内容に関する変化について知ることができるとよい。
- ・このセミナーの他に日本における”沿岸管理プログラム”についての情報を知りたい。
- ・本セミナーで紹介されたプロジェクトに関する書物、及び技術面の情報がほしい。今日、日本において進められているプロジェクトについての情報も合わせ知りたい。(各段階における費用、費用の合計、財源などについて)
- ・都市整備プロジェクトにおける都市中心部の再生、土地所有者ならびに出資者の参入などに関するどのような問題をどのように扱ったかを知りたい。
- ・日本に行くことができる研修員は少数である。したがって、ブラジルで日本人専門家による技術セミナーが開催されることは特定の問題点について両国の技術者が話し合う場を提供することができる。

(3) その他何か意見があったら書いてください。

- ・フォローアップは技術面の仕事上、都市計画における情報・経験を世界を通じて交換できるので大変重要である。

- ・ JICAは元研修員の経験上の相違点を調査し、ブラジルの現実にそった補足コースを考える必要がある。フォローアップミッションは次回には北東地域の特殊条件を考慮すべきである。
 - ・ ブラジル北東部に住むものとしてJICAはレシフェでも同様の会議、セミナーを開催すべきである。
 - ・ 元研修員へ関係書類を毎年おくってほしい。
 - ・ 日本が“緑地帯”をどのようにして管理しているのか、またそれは公有地か私有地かを知りたい。
 - ・ このようなセミナーは都市整備あるいはほかの問題について各国の経験、知識を交換するうえで大切である。
 - ・ フォローアップセミナーはブラジルの技術者である我々が日本の知識を紹介、運用した成果を評価する上でよい機会だと思う。
2. あなたが関わっているか現在進行中の都市開発あるいは都市計画のプロジェクトについて要点を書いて下さい。
- ・ 地質学上、問題のある地域でのプロジェクト。沿岸地域における都市整備。都市法の見直し。
 - ・ サン・パウロ州の後背地における自治体のための地域開発総合計画。
サンフランシスコ川流域の水力発電所新設により完成されたブラジル北東部灌漑農業地帯における開発計画立案およびプロジェクト。
 - ・ 都市整備修士課程専攻。CDHUの特別計画顧問グループ参加。SEMPURAにおいて市議会との会議に提出される地域開発総合計画立案に従事。
新市長のもとプロジェクトは、総合計画修正案、ゾーニングおよび土地使用規制法、工業用地法、環境、都市影響計画法の範囲になるだろう。
 - ・ 南リオグランデ州の自治体総合計画（12案）立案責任者。
 - ・ レシフェ総合計画。アラゴアス州州都、マセイオ都市再開発の検討。
 - ・ マセイオにおける交通システム開発の検討。

- ・レシフェ中心地帯都市再開発。
- ・レシフェ中心地帯における自治体全体を考慮した場合おきる商業地帯の問題（カメロス）の経緯。
- ・オランダにおける再開発の完成。
- ・現在、PEDUプロジェクト（上下水道、都市地域におけるその他の公共事業等）のメンバー。
- ・サン・パウロ首都地域総合計画に従事、そのご民間会社に環境分析者として勤め、サン・パウロ州環境計画（環境保護、農業地帯および都市部の分析、計画）担当秘書官になり、現在にいたる。
- ・南東部地下鉄開発計画。DOM PEDRO。パリ都市公園計画。都市流水計画他。
- ・サン・パウロにおける”都市経営”に従事。これは公共事業を必要とする都市部に限定した地方都市開発プロジェクトである。
- ・PARANOA、及びSANAMBAIAの衛星都市。
- ・鉄道事業の民営化－都市鉄道を他の経済地域まではしらせる方法。都市再開発も仕事の上で重要である。
- ・都市計画組織の一員として、ポルトアレグレ中心地域計画に参加。
”グアイバ川浄化計画”プログラムの調整員として都市計画の責任のもとに、活動した。現在、環境計画に参加している。
- ・現在、集合住宅残存用地のこれからの使用法についての計画用ガイドラインを検討中、それによって、土地使用、土地価格、ゾーニング、低所得者用住宅の不足などの問題に応じることができるであろう。

3. 目的達成の方法上困ったことがありますか？

- ・研究活動費調達が困難であることが大きな問題点である。国全体として研究政策に一貫性がない。土地法の見直し。
- ・計画用の新しいコンピューターベース技術の経験不足。
- ・一般的にスタッフは都市開発プログラムの実行段階において困難に直面する。

都市計画法の提議についても同様である。その理由は、市議会において4年ごとに市長がかわり、行政組織がかわる事によって、プロジェクトの実行、法律提議に支障をきたすからである。

- ・都市開発及び都市膨張規制上、ほかの法律手段を知りたい。日本のニュータウンについて知りたい。
- ・行政のあらゆる役職の責任者が常に移動し活動に一貫性がない。SUDENEにおいてそれは顕著である。問題点は長い間同じであり、計画自体つねにかわり、全体として変更され、開発計画を中断させ、結局なかった事にしてしまう。
- ・問題解決のためには、十分な財政及び啓発的条件が必要である。
- ・住宅・都市開発企業に従事しているが、両者には連動がなく、包括的な解決策がない。スタッフは住宅不足問題だけにしぼられる。それは結果として個人的失望と低所得者用住宅の悪条件を生むだけである。包括的計画もかけている。
- ・私有地において私有財産を侵さず、生態系を破壊しないように開発をすすめるのは困難な仕事である。
- ・再開発プログラムに私企業をパートナーとして、参加する意欲をもたせるのは困難である。この問題を解決するには、確実な市場を提供することである。
- ・都市再開発には、法律的な、司法上のそして財政的な各局面において問題が起こる。

*帰国研修員の方々への質問

A.参加コース名

- a. 集団コース：12人
- b. 個別コース：0
- c. 記載なし：1

B.参加した年：

1976年 - 1名 1979 - 1 1983 - 1 1987 - 2 1988 - 1 1989 - 2

1990 - 1 1991 - 1 1992 - 1 記載なし - 1

C. 参加時のあなたの所属機関

IPT 研究員、EMURB 上級都市計画プランナー、CDHU 上級建築士、州立リオグラ
ンデ大学教授、SUDENE/DPG/PSU/GT-URB 都市グループ主任、SEPLAN-PE 建築士、
自治体計画秘書官(都市開発監督)、サンパウロ州住宅・都市開発公社上級建築士
EMPLASA プロジェクト調整員、EMURB 上級建築士、公共事業・土木事業局建築士
(都市計画)、GEIPOT マネジャー

D. 日本での研修の成果をどのように活用していますか？

- ・日本の都市計画方法論を研修することにより住宅プロジェクト(公園、緑地帯
道路、土木標準など)に関連する法律提議に役立てた。
- ・研修コースで得た知識全体は私にとって、必要な項目を明確にしてくれた。
このことは、GIS にとって大変重要である。
- ・日本で学んだ重要なポイントは、都市計画に運用される、都市方法論及び
法律的方法論であった。この方法論は比較研究において議論され、法律的に
討論されて、サンパウロ州に総合開発計画として提案された。
- ・コースで学んだことはすべて大学教授、研究者としての仕事に大いに役立って
いる。私が得た情報は学生に伝え、ビデオなどは授業に使用している。
- ・まず再開発活動について不安がなくなってきた。都市活動のガイドラインは
都市範囲の可能性を最大限にした。都市再開発活動のサポートとして活用して
いる。
- ・都市計画、都市設計及び指導するうえで役立てている。
- ・都市プロジェクト管理、都市計画の任務についての議論、都市設計及び組織に
ついての提案そして都市計画において都市運営の新しいビジョンづくりに活用
している。

- ・ 4年間、サンパウロ州（主に大サンパウロ地区）で、低所得者用住宅用地の取得にあっている。
- ・ 私たちはサンパウロ州南岸にあるイルハ コムプリタで再開発計画を予定しています。この島は1987年に環境保護地域に指定されている。したがってここに存在するものは他の地域へ移動しなくてはならない。自治体は環境長官の監督のもと環境計画調整、沿岸計画の各課によって、このプロジェクトの実行にあたる。
- ・ 都市改造
- ・ 都市計画プロジェクト
- ・ 都市鉄道の民営化、都市再開発

E. 将来の研修に有効と思われる点がありましたら書いて下さい。

- ・ 建築技術品質管理の方法、地方における汚水処理技術、環境政策と汚染防止についての情報。
- ・ 都市計画に運用されるGISについての日本の経験。
- ・ 都市開発プロジェクトにかんして、日本のアドバイザーとブラジルの公共団体の間に技術的協力の機会がほとんどなかったことが悔やまれます。
- ・ 研修員を厳選しより少ない人数で研修を行う方がより有益だったと思う。
- ・ JIKAはブラジル北東部の特殊事情を考慮し、北東部の研修員に対してこのコースまたは他のコースへの再度の参加を認めるべきである。
- ・ 国内事情の違いから日本で学んだことをそのままブラジルで実行にうつすことは困難である。
- ・ 1989年の研修コースは研修員の希望にそっていたと思う。
- ・ 本コースには都市評価立法に関する情報にかけていたと思う。
- ・ 日本だけではなく発展途上国における都市計画の比較（問題点を検討し、解決を試みる）もあわせて行うとより有益である。

2. セミナー参加者リスト(メキシコ、ブラジル)

セミナー参加者リスト(メキシコ)

No	N A M E	P O S I T I O N	A D D R E S S
1	MR. JUAN MANUEL LICONA ENCISO	DIRECTOR OF PROJECTS, CONSULTORIA PROGFAMAS Y PROYECTOS (C.P.P.) S.C.	ALCAZAR DE TOILEDO 302
2	MR. CELSO VALDERRAMA DELGADO	SUB-COORDINATOR OF SOCIAL & URBAN PROGRAM UNIVERSITY OF NAYARIT	CIUDAD DE LA CULTURA "AMADO NERUO"
3	MR. JESUS ALVAREZ FLORES	SUB-DIRECTOR REGION ISTMUS-PENINSULA SEDESOL	AV.CONSTITUYENTES 947
4	MR. J.ROBERTO AIARCON GARCIA	COORDINATOR DEL PROGRAMA DE INVERSIO- NES PRIVADAS FIDELCOMISO DEL CENTRO HISTORICO DE LA CIVIDAD DE MEXICO	REPUBLICA DE CHILE 8 ESP.DONCELEI COL. CENTRO.MEXICO D.F.
5	MR. J.FELIPE ORDONEZ CERVANTES	DIRECTOR OF OPERACION URBANA ZONA NORIE SEDESOL	AV.CONSTITUYENTES 947
6	MR. SOTERO ORTIZ	SUB-DIRECTOR, SECRETARIA DE DESCRIPOLLO SOCIAL	CONSTITUYENTES 947
7	MS. EVANGELINA HIRATA NAGASAKO	VICE-DIRECTOR OF STATE HOUSING PROGRAMS NORTH ZONE, SEDESOL	AV.CONSTITUYENTES 947, COL.BELEN DE LAS FLORES
8	MR. SERGIO MARTINEZ ARRIAGA	VICE-DIRECTOR OF URBAN LAND RESERVES, SEDESOL	AV.CONSTITUYENTES 947
9	MR. ALBERTO DIAZ G.		
10	MR. J AGURO AISPVEZ		
11	MR. G. PEREZ		

セミナー参加者リスト (ブラジル)

NO.1

No	N A M E	P O S I T I O N	A D D R E S S
1	MS. IVANY HATUKO UETA	TECHNICAL ASSESSOR	SEMPLA AV. PAULISTA 2198 17 ANDAR
2	MS. HELENA SULA ELZESSER	SUPERVISOR OF DIGITAL CARTOGRAPHY	SEMPLA AV. PAULISTA 2198
3	MR. RAUL CANIZARES PROANO	TEACHER OF DRAWING AND TECHNICAL CONSTRUCTIVE	UNIVERSITY TECHNICAL OF AMBATO - ECUADOR
4	MR. RICARDO DE SOUSA MORETTI	IPT	CIDADE UNIVESSITARIA -CEP 05508- SAO PAULO -SP-CP 7141 -CEP 01051
5	MS. MARIANA SARINAS GONZALES	CHIEF OF EVALUATION DEPT.	MINISTRY OF DEVELOP- MENT OF URBAN LIVING AV. 10 DE AOSTO 2270 QUITO ECUADOR
6	MS. TANIA WAKISAKA	SENIOR ARCHITECT	P MSP/SEMPLA AV. PAULISTA 2198 16 ANDAR
7	DECIO RIGATTI	PROFESSOR	FEDERAL UNIVERSITY OF RIO GRANDE DO SUL
8	VANIA AVELAR DE ALBUQUERQUE	URBAN GROUP OF REGIONAL URBAN PLANNING	SUDENE PRACA JOAO GONCALVES DE SOUSA S/N, CEP 50 670 500 CIDADE UNIVER- SITARIA, RECIFE PERNAMBUCO, BRAZIL
9	XINENA AGUIRRE CARDENAS	MINISTEERIO DE VIVI- ENDA Y URBANISRO-SER- VIN METROPORITANO	SERRANO #45-4 TO PISO OF. N-428
10	MS. MARIA AKUTSU	SENIOR RESEARCHER, IPT	CIDADE UNIVESSITARIA -CEP 05508- SAO PAULO -SP-CP 7141 -CEP 01051

セミナー参加者リスト (ブラジル)

NO.2

No	N A M E	P O S I T I O N	A D D R E S S
11	SANIE FARIAS ISASI	ASESORIS TECNICOS, CONSEJO NACIONAL DE LA FIVIENDA	INA. NACIONAL 909 E/MANVEL DOMINEUEZ
12	JANIR SIMIEMA	PROJECT TEACHER'S & RESEARCHER, UNIVERSIDADE ESTADUAL DE LONDRINA	CAMPUS UNIVERSITARIO
13	MR. GERALDO DE BARROS NORGERA	ENGENNEIRO CIVIL, COHAB-SANRIJTA	PCQ DOS ANERADAS, 12 SABDRIS - SP.
14	MR. JOSE IGNACIO S. ALMEIRA	ARCHITECT, PREFECTURE OF SAO PAULO CITY	RNA FORMOSA 367/9 - ANDAR
15	MR. ANTONIO ELIAS ALVES	CHIEF OF DEPARTMENT, LABORATORIO DE ENGENHARIA DE MOZAMBIQUE	MODZAMBIQUE AV. AT 1.5KUI. MARUTO-MOE.
16	MR. REYNAVDO VAVDES PEREIRA	CHIEF OF DEPARTMENT, MINISTERIO DE ASUNTOS URBONOS	AV:ZO DE OCTUBRE Y ROSENDO EUTIERRES
17	MR. FERNANDO ACEVALILLO LLATA	CIVIL ENGENEZ, C. D. H. U.	AV. 9 DE JULHO NO. 4939
18	MR. ANTONIO FERNANDES PEREIRA	CHIEF OF DEPARTMENT OF PROJECT, SECRETERU OF HOUSING ANGOLA	1ST CONGORESS, 34 STREET- LUENDE ANGOLA
19	DR. MONICA PAROSO ANDRADE	ASSESSOR DE PRESIDEUCI ACONDEPE	RUA LIMA E SILVA 952
20	VIRGINA MUZELL JARDIM	PLANNING ASSESSOR OF DIRECTOR, PREFEITURA MUNICIPAL DE PORTO ALEGRE	RUA LIMA E SILVA 952

セミナー参加者リスト (ブラジル)

NO. 3

No	N A M E	P O S I T I O N	A D D R E S S
21	MR. GILBERTO DI CAPODARSO CARA	SENIOR ARCHITECT, PLANNER CDHU	AV. NOVE DE JULHO, 4939 BLOCO A-90A SAO PAULO, SP.
22	MS. ELISABETE C. GASPARELLO BUSCHEL	CHIEF OF THE SECTOR, ENVIRONMENTAL SECRETARIAT OF SAO PAULO STATE	RUA TABAPUA, 81 04533-010 S. PAULO-SP.
23	VALERIA FARIA	ARCHITECT, CDHU	AV. NOVE DE JULHO, 4939 BLOCO A-90A SAO PAULO, SP.
24	MR. JOSE JACQUES NAMUR YAZBEACK	PARLIAMENTARY TECHNICAL ASSESSOR, CIA. DO METROPOLITANO DE SAO PAULO - METRO	RUA AUGUSTA, 1626-SAO PAULO-SP.
25	MR. NELSON MARONE AERE	ARCHITECT, CDHU	AV. NOVE DE JULHO, 4939 BLOCO A-90A SAO PAULO, SP.
26	CIBEVE RIVA RUMER	CPOJ	
27	ARNDLDO RENTES	SH-SP	
28	ANELLS N. C. TISOVEL	SEMPLA-DEPLANO	
29	SYLVIA LUE FRE	SEMPLA-DEPLANO	
30	XIMENA AGUIRRE	CURSO DE HABITACAO	
31	MAX ARRIOLA	CURSO DE HABITACAO	

セミナー参加者リスト (ブラジル)

NO. 4

No	N A M E	P O S I T I O N	A D D R E S S
32	MIGUEL MERCADO	CURSO DE HABITACAO	
33	AHA IHEZ DE LA FUENTE	IPT-JICA	EDIP. EX-IVU, AV. DON BOSCO, COLONIA LIBER-TAD, SAN SALVADOR, EI SALVADOR, CENTRO AMERICA
34	RENE RANGEL PALACIOS	IPT-JICA	EDIP. EX-IVU, AV. DON BOSCO, COLONIA LIBER-TAD, SAN SALVADOR, EI SALVADOR, CENTRO AMERICA
35	MARI TOMITA KATAYAMA	IPT	
36	RAMON RUBIO LICONA	CURSO JICA-IPT, MEXICO	AV. CONSTITUYENTES 947 COL. BELEN DE LAS FLORES CP. 01110 MEXICO D.F.
37	MANUEL PEREZ	CURSO JICA-IPT, REPUBLICA DOMINICANA	
38	LUIS FERNANDO GARCIA L.	CURSO JICA-IPT, COLOMBIA	
39	CLECIO RANGEL DE BARROS	CURSO JICA-IPT, BRAZIL	
40	ANDNE GARCIA MARTIN	SEC. HABITACAO EST. S. PAULO	
41	LAUNE BUENO	PARTICIPANT	
42	DIRCE HARUMI DMATUZAKI	SEMPLE-PMSP	
43	S. NIYAMA	IPT/ABJICA/ABMS	

セミナー参加者リスト (ブラジル)

NO. 5

No	N A M E	P O S I T I O N	A D D R E S S
44	CAIO FEBIS T. DE MOTLEC	IPT	CIDADE UNIVESSITARIA -CEP 05508- SAO PAULO SP-CP 7141 -CEP 01051
45	A.R. DE FAETHY	IPT	CIDADE UNIVESSITARIA -CEP 05508- SAO PAULO SP-CP 7141 -CEP 01051
46	MR. TOSHIICHI TACHIBANA	IPT (ABJICA)	
47	SILVIO FIAUEIREDO	IPT	CIDADE UNIVESSITARIA -CEP 05508- SAO PAULO SP-CP 7141 -CEP 01051
48	JOSE F. A. LEFEVRE	EMURB	RUA SAO BENTO, 405,160 SAOPAULO SP. BRAZIL
49	AYRTON MARTINI FILHO	SH-ESP	
50	AGNES FERNANDES	DCC	
51	A. P. DE F. BAUOF	EMURB	
52	FLACIO FURAH	IPT/DCC/AEG	CIDADE UNIVESSITARIA -CEP 05508- SAO PAULO SP-CP 7141 -CEP 01051
53	NORMA YURIE SUKI	SEMPLA	
54	A. R. LUZ FENERICH	SEMPLA	
55	DEBORA S. P. CRIMALDI	SEMPLA PMSP	
56	STELLA MARIS BILENJIAN	CDHU	

セミナー参加者リスト (ブラジル)

NO. 6

No	N A M E	P O S I T I O N	A D D R E S S
57	PIENE F. CONEA	CDHU	
58	M.L.P. NETO	CDHU	
59	SUMIE TOMIMASU	IPT	CIDADE UNIVESSITARIA -CEP 05508- SAO PAULO SP-CP 7141 -CEP 01051
60	DIONE PINRO SILVEIRA	SECRETARIAT OF PUBLIC WORK AND SERVICES- URBAN DEPARTMENT	ANEXO PALACIO BURITI 120 ANOAR
61	CRISTINA KANACIRO	IPT	CIDADE UNIVESSITARIA -CEP 05508- SAO PAULO SP-CP 7141 -CEP 01051
62	BAISY WILMA OSUNA	CENDA- CENTRO DE COMUNICACION AND DESARROLLO ANDINO	CALLE ADELA ZAMUDIO COCHAHAMDA - BOLIVIA

JICA